

# 事前評価シート

担当課 担当名	道路建設課 国県道担当
作成年月日	平成24年10月 5日

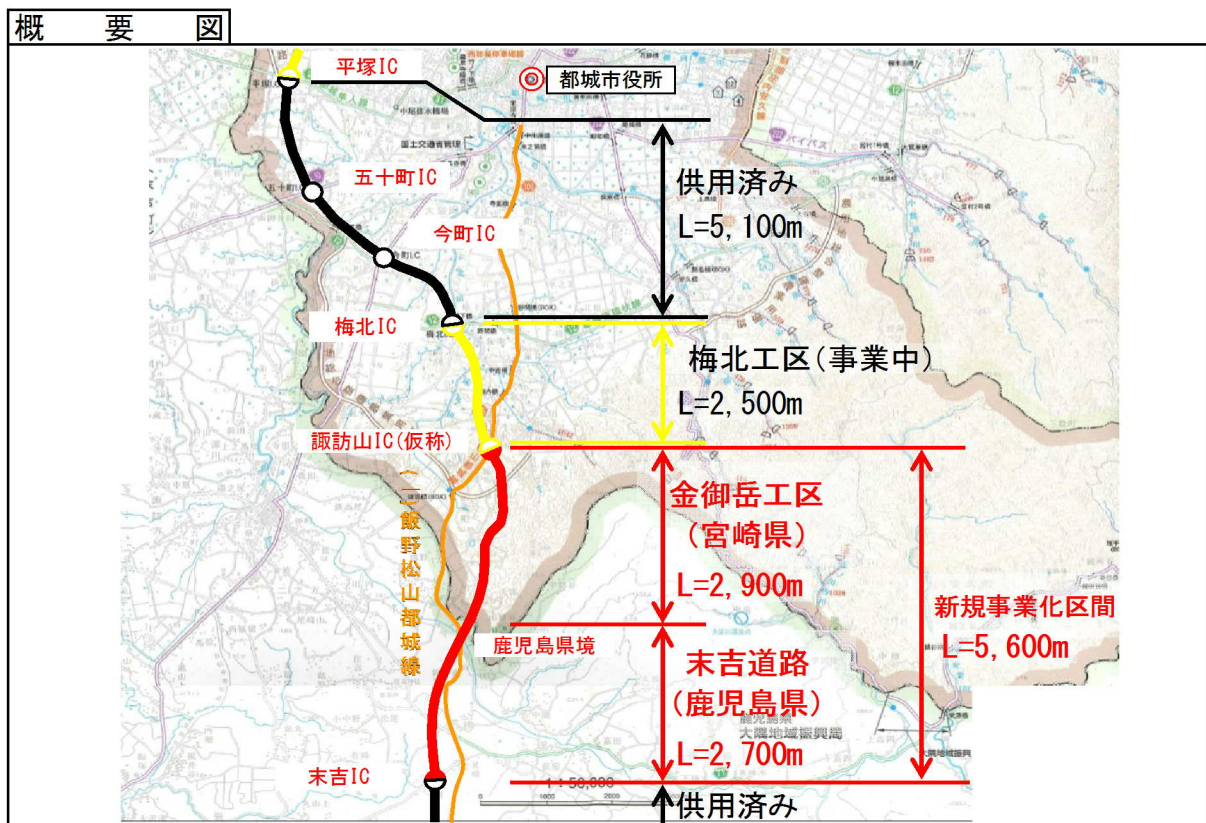
事業名	道路事業（地域連携推進事業）		
箇所名	一般県道 飯野松山都城線（金御岳工区）	市町村名	都城市

実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 交付金 <input type="checkbox"/> 県単				
事業費 (百万円)	全体事業費 4,800	国費 2,640	県費 2,160	その他	一般財源
事業期間	事業着手 H25	目標完成年度 H32			

総合長期計画上の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
細項目名	経済・交流を支える基盤が整った社会 交通ネットワークの整備・充実 高速道路ネットワーク等の早期形成

**全体計画**  
 県道飯野松山都城線は、鹿児島県志布志市を起点とし、都城市甲斐元町の国道10号を終点とする延長約21kmの一般県道である。本工程は、地域高規格道路である都城志布志道路の一部を形成するものであり、国際戦略バルク港湾として整備の進められている志布志港と、日本有数の農畜産地帯である都城地域などを結び、飼料をはじめとする貨物の輸送及び地域連携の強化に寄与する道路として重要な路線である。  
 『計画延長L=2.9km W=7.0(12.0)m』

**事業目的**  
 本工程は、現在整備を進めている飯野松山都城線梅北工区の終点である諏訪山IC（仮称）から鹿児島県境までの区間である。また、隣接する鹿児島県工区との間にはICが無いとため、両県が一体となって整備を進める必要がある。  
 当該区間が都城志布志道路の唯一残された未事業化区間であるため、本工程の整備により全線の早期開通が図られ、志布志港からの物流の効率化、都城広域定住自立圏の連携強化が期待できる。  
 また、交通量が本整備区間へ転換されることにより、現道部における騒音、振動の軽減効果も期待されるなど地域の発展に大きく寄与するものである。



事前評価シート

事業名	道路事業
箇所名	一般県道 飯野松山都城線 金御岳工区

(1) 事業の重要度に関する評価

評価の視点	評価項目	審査項目	判断基準	配点	評価点	
成立性	①上位計画との関連性に関する事項	○国・県レベルの計画に関する事項 ・広域道路整備基本計画での位置付け ・1.5車線の道路整備との関連性 ・国家的プロジェクトとの関連性 ・国の重点施策との関連性 ・県のプロジェクトとの関連性	別表1) 参照 ○	8	8	
		○市町村レベルの計画に関する事項 ・市町村総合計画(建設計画)での位置付け ・都市マスタープランでの位置付け ・市町村のプロジェクトとの関連性	別表2) 参照 ○	4	4	
		○県総合長期計画に関する事項	別表3) 参照	3	3	
		○他事業等との関連に関する事項 ・大規模公共施設関連道路 ・農林道一体整備道路 ・他事業との関連性 ・市町村合併支援道路	別表4) 参照 ○	5	3	
		小計		20	18	
	必要性有効性	③事業による効果に関する事項	○道路位置付けに関する事項 ・地域高規格道路 ・都市計画道路 ・緊急輸送道路	別表5) 参照 ○	13	10
			○道路の機能に関する事項 ・地域高規格道路へのアクセス強化 ・バス路線 ・大型車とのすれ違い ・孤立化する集落の解消 ・特殊車両指定道路 ・ネットワーク形成 ・代替道路	別表6) 参照 ○	12	12
			○交流・連携の強化に関する事項 ・県際道路の整備 ・高速道路関連整備 ・公共交通機関関連道路 ・物流拠点へのアクセス強化 ・観光地へのアクセス ・広域構想等に資する道路	別表7) 参照 ○	13	13
			○生活環境を改善する事項 ・2・3次救急医療施設へのアクセス強化 ・H8防災点検対策箇所 ・渋滞対策プログラム箇所 ・歩行者の安全性向上 ・雨量規制区間 ・振動、騒音の緩和	別表8) 参照 ○	11	11
			○道路現況の改善に関する事項 小計 ・交通量 ・混雑度 ・通学路	別表9) 参照 ○ ○	11 5	9 5
④環境への影響に関する事項		○自然環境への影響に関する事項 ・自然環境保全地域または緑地環境保全地域内の事業ではない	別表10) 参照 ○	2	2	
		○環境への配慮、保全に関する事項 ・緑化や景観 ・建設副産物発生抑制、再利用 ・生態系 ・騒音・振動・水質汚濁	別表10) 参照 ○ ○ ○ ○	8 2 2 2 2	8 2 2 2 2	
		小計		70	65	
		⑤地元からの要望活動に関する事項	○地元要望の熱意に関する事項 ・要望活動に関する事項	別表11) 参照 ○	5	5
		⑥事業計画への住民参加に関する事項	○合意形成の有無と住民参加への熱意に関する事項 ・1.5車線の整備で地元合意が取られている ・都市計画道路である ・地元の協力体制が文書で報告済みである ・区画整理事業、ほ場整備区域内である ・計画段階からPIを導入している ・用地区域5割以上の買収了解を取り付けている	別表12) 参照	5	0
小計			10	5		
合計			100	88		

(2) 事業効率に関する評価

評価項目	評価結果
費用対効果(B/C)	2.04

(3) 総合評価

評価項目による判定結果	判定結果
重要度ランク	I
事業効率	B/C = 2.04
新規事業として事業実施可能	